

第5回小川小学校・朝日みどり小学校統合推進委員会

令和8年4月23日(木) 19:00~21:00 村上市総合文化会館 視聴覚室

参集者：●推進委員：小学校PTA保護者5名(委任1名)、区長2名(委任2名)、学校運営協議会2名、学校3名(委任1名)、教育委員1人 計13名(委任4名)
●合同統合検討会構成員：保育園保護者5名、区長3名、学校運営協議会3名、保育園長2人 計13名(重複1人)

市教委 本日は第5回統合推進委員会について、お集まりいただき大変ありがとうございます。前回、3月に開催させていただいた時に、委員の方から、この次の朝日みどり小学校の工事の内容について、これまでの経緯と少し違うのではないかというお話がありまして、これまでの統合推進委員会の1歩手前の合同統合検討会のメンバーにも説明していただきたい。とのお話ありましたので、このたび、合同のメンバーそっくり顔ぶれ同じではないですけれども、変更があった方には今の役職の方に、案内させていただいて、お集まりいただいたところです。

今日は工事関連の説明会と推進会議を兼ねさせていただいております。推進会議に入る前に、前段30分くらいこの工事説明について、させていただきたいと思います。

座って説明させていただきます。資料お配りさせていただきました、朝日みどり小学校の工事図面です。赤いラインの入った図面をお手元お願いします。

参加者 すいません。ちょっといいですか。

工事の内容の説明には、1年前の3月14日に教育長さんが朝日さくら小学校で、統合するときには、さくら小と新しい学校で話し合いによって校舎を決めるというふうになっていました。その経緯があったにもかかわらず、このように、3億6000万の予算がついているの、これがどうしてなのかをまず説明していただきたいということ。もう一つ、昨夜、さくら小学校での話し合いがあったと思います。同じ内容で、その内容も説明をお願いします。

市教委 教育長の説明回答の前に、これらが結びつく工事の内容ですので、ひとまずその内容について説明させていただいてからお願いしたいかなと思いますけど答えてよろしいでしょうか。

参加者 できれば説明の前に、もう一度校舎を決めるという発言があったにもかかわらず、なぜ突然、この3億6000万が出てきたのか。その経緯をまず説明していただきたい。

市教委 経緯につきましても、工事内容からが結びつくんです。例えば、この図面でいいますと、外壁の改修工事につきましては、雨漏りですとか校舎のクラックなどありまして、それらを修復するために今回計上したものです。統合の各学校もいろいろ直さなければならぬところはあるんですけれども、この統合のタイミングで計上させていただいたということです。この外壁と屋根防水については、そういう状況でありますし、またトイレ改修工事。

参加者 すいません。前回の推進委員会の中で、一応、今までの流れと全く違う工事が発生してると。その内容について推進委員会じゃなくて、その前段の統合委員会の皆さんがそういう中身で聞いてて、推進委員会に移行していいですかというところを確認する意味で、皆さんに集まっていたいて、その工事の中身っていうのは、あくまでもその前段ではこのみどり小を使うために、ここが必要ですよっていうけど、皆さんのためにオープンして初めて次の行程に移れると思うんですよ。皆さん今この図面で見ていますけど、この中身について、事前に説明聞いてる方いますか。この外壁改修だとか、そういうのを聞いてる人います。誰も聞いてないんですよ。聞いてないのに、突然、お金が3億5400万とかが出てきたんですよ。しかも、その出方が、議

会にかかったんですよ。普通、議会にかけのお金っていうのは、例えば2種類ありまして、地元から要望してお願いして、工事等をやってもらう。そのために、それぞれの所管で計画をして、議会に提出して承認していただく方法。もう1つは、市の方で物事を計画する。その計画については、地元の人たちに内容を説明して、その工程を了解して初めて議会の方にかけるというのが筋だと思うんですよ、今回は全く、今までの統合の中で話されてない予定が出てきてるんですよ。逆言うと、なんで3億5000万かけなきゃいけないみどり小を選んだか。だって最初から3億5000万かかるのであれば、どこでもいいわけですよ。極端な話、しかもその3億5000万が教室が不足のために投資しますと、いう中身じゃないんですよ。外壁ですよ。基本的支出になるやつについては、事前にこの推進委員会で内容をオープンにするべきでなかったんですか。しかも今言ったように。

市教委 すいません。おっしゃることはわかります。昨日も同様の話をいただいてきたので、まず私の説明を少し聞いて、頂きたいと、

参加者 ダメなの、さくら小の話をしてもらいたい。ちょっとあれなんですよ。もうね皆さんに説明し終わったというふうに、教育委員会は整理してるんですよ。今までの事例から見るとそうだから。じゃなくてその前段でやってもらってるんですよ。皆さんに聞けば聞いたと。皆さん了解したんですかと聞けば、皆さんに説明しましたと。そこをね、皆さんに納得させてからやってもらいたい。それが普通の仕事の進め方。

市教委 私たちのこれまで説明不足だった部分もあり、皆さん推進委員の方も聞いてなかったということもあるかもしれませんが、一度、秋の時点では、こういう工事を行う予定がありますということ、こういう図面までは出さなかったですが、工事について今検討してますよというお話をさしていただいて、

参加者 それは何年先の話ですか。今までの会議の中で、統合に向けての話をやるためには、いずれこの先、基本的支出しなきゃいけないという話が出ましたよね。何年までにやらなきゃいけないという話でしたか。令和何年ですか。

市教委 令和何年までにやらなければならないというか、統合に向けてやらなければならない工事などを検討する事をお伝えした。

参加者 それは議事録のどこに載ってるのか。市教委の今言ってることが、どこの議事録に載ってますか。

市教委 秋の推進のときにお話させていただいたと思います。

参加者 思いますでは駄目なのよ会議の中では。概要版に、学校統合に当たり留意すること、ということで、地域の合意形成に十分に努めます。と有りますが、今の改修のことを地域とちゃんと合意形成してますか。

市教委 その経緯も含めその内容を説明させてもらおうかなと。

参加者 今もうそんな、それが議会通った後だよ。言葉きつくなって悪いけど、議決とる前に説明するならわかるけど議会通してるんですよ。さっき言ったように順番違うんじゃないか。

市教委 確かにこういう工事を考えてますっていうのを、皆様に確かに金額も含めなかなか情報提供がなかったことは、申し訳なかったと思っております。今回の統合で、みどり小を使用することが決まってから、建物のクラックですとか雨漏りですとか、それ

ら必要な改修の設計入ったものですから、金額が出るのが遅かった、時間がかかったことで予算要求の時期に、踏み込んでしまったという状況です。

参加者 いやそうじゃ話にならない。その話を我々してもらって、それから初めて議会にかけるんじゃないですか。市の予算に載せるんじゃないですか。

市教委 仮に、ご説明してれば、どう受けとめられたんですか。

参加者 いやそんなものは説明してもらわなきゃわからない。またきつくなって悪いですけど。上に立つ人のやり方じゃないもん。我々を馬鹿にしてると思います。その話1回も出ないで突然出してきた。

市教委 このたびの外構工事、外壁雨漏りの改修についても、本来であればどこの学校でも、必要になってくるものを、今この統合のタイミングでやりましょうという、

参加者 なんで説明しないのか。言葉きつくなってなんて悪いけど。

市教委 本来であれば、どこの学校も雨漏りしてるなどは直さなければならぬですが、お金がかかる事なので、

参加者 であれば計画はあるんですか。どこの学校が何年にやる、どの学校が何時やるだという中期計画があって、それと今回の統合計画を合わせて、どういうふうにして持っていくんだというのをやるのは普通の流れです。

市教委 現在の予定としては、みどり小も市もそうですし、これから一中・東中が東中学校を使うことになってます。あと、岩船中学校・神林中学校は神林中学校を使うことになってます。このタイミングで、新しく使う校舎を改修していこうということで、その後、使用し続けてる学校については、傷み具合を見て改修していきましょうというところですよ。

参加者 中期計画にあるんですか、きちっと図面になって。

市教委 統合では確立してないですが、

参加者 それは駄目だね。例えば、皆さんは4年後、皆さん誰もいなくなると思うんですよ。

市教委 施設計画の一番大元になる計画があります。校舎等の老朽などを、載せてました何ページにもわたって。小学校13校中学校7校、必要に応じて全部やっていかなければならないんですけども、この統合ということを見据えて、順番づけをしてるんです。今回、事前に説明ができなかったのは事実だと思うんですけども、その統合する学校の校舎にとりあえず、優先してお金をかけよう。ただし、これまでの説明の折には、校舎の新築とか増築とか、そのようなのにはお金はかけられませんよと説明してきたんです。今回はそれじゃないんです。

参加者 同じですよ。例えばね、今回統合にかかるのであれば、国の方から3分の1が2分の1の補助金が出ますと。でもね、市で半分1億7000万出すんですよ。市の予算たんばん390億ぐらいだと思うんですけど、それでもギチギチだって聞いているわけだ。今年6月になると水道料が上がるし、下水道が34%上がりますけど、社協もこの赤字で職員の数も足りないと言っている。その全体の390億の中でうまく金使っているのが市の運営じゃないですかね。ちょっとでかくなったけど、じゃなくて、今ここのお金とい

うのはきちっとやっぱりね、皆さんに説明してから、議会にかけて、了解を得るべきじゃないですか。最初から議員の質問を聞いていたんですけど、上っ面の話で終わるんですよ。その中でこんな話もあったんですよ、市教委の方に。例えば、みどり小の方で今回補助金もらって、もし、さくら小が、このあとゼロからスタートであって、さくら小となったときに、みどり小の補助金は返納するんですかしないんですかという質問しましたよね。そのときに、学校教育課長はちょっと確認してから回答しますよという話でした。その確認されましたでしょうか。

市教委 そのあと、確認しました。国庫補助金を入れると、10年という目安があります。10年以内でほかの目的に転用したり、売買・譲渡したり、そういういったことをした場合は、補助金の残存価格に対しての返還が発生します。ただ、他の行政目的で公共目的で使用したりする場合は、返還が免除される。

参加者 公共目的とは、学校関係ですか。

市教委 学校関係とは限らないんです。他の地域活性化、今、全国的にも学校統合多いので、文科省の方で廃校プロジェクトっていうのを推進して、特例で認められるケースっていうのが出てきてますので、

参加者 逆にさくら小に行ったら、補助金をもう一度もらえるってことですか。

市教委 国庫補助はそのときに申請をして、国の判断を待たなければならないですけど、今回はみどり小の校舎で補助金をもらえますよね。仮に統合後、さくら小の校舎使いましょうとなったときに、今度、校舎がさくら小になりますよね。別の校舎になりますので、おそらくここは重複の投資とは判断されないと思います。ただその国とのやりとりしてみないとわからないところ。

参加者 普通で考えたら選択肢の中には、金かけた学校の校舎の方を使うというのが普通ですよ。やり方としてはね。あえて言うと。

市教委 だから議会でも、一応、新たな合同統合、検討会で使用校舎については話し合う。ただし、投資した分の重要性については尊重してもらわなければならないような答弁をさせてもらいました。

参加者 それは、どういう意味なんですか。

市教委 だから、一応フィフティーフィフティーで、対等に使用校舎については話し合うっていうことは保障しますけれども、今回みどり小の校舎の改築のために、新あさひ小のためにかけたことは、ちゃんと、重いと受けとめていただかなければならないということです。

参加者 ただ、さくら小を吸収するということですよ。

市教委 いやそうは言っておりません。ただそれを上回る、さくら小学校の校舎に魅力があるんだったら、そういう話し合いになってくるんだと思いますし、今どうして私さっき一番冒頭にお聞きしたの、舘腰・三面・高根地域の子どもたちが入る校舎に、お金をかけて何とか環境を整えようとしてるのに、それをなぜ小川小学校さんの子どもも使うのにそれを否定されるのかちょっとわからないので冒頭にお聞きしたんです。

参加者 予算っていうのは、皆さんの意見があって初めて予算化できるんですよ。私も区長していますが、もうクマ対策とかいろんなことを要望してますが、なかなか市はしてく

れません、お金がないっていうことで。しかも職員もどんどん減っている。そんな厳しいところで市の予算がない中で市の職員頑張ってるんですよ。何で突然1億7000万も、乱暴にね使うんですか。誰がそれ要望しましたか。予算は、事業計画があって初めて予算化できるんですよ。それをないがしろにしながら、突然、教育委員会がトップダウンでやるっておかしいんじゃないんですか。そんなふうにして税金を使っているんですか。

市教委 おっしゃることはわかるんです。ただ、今この3億5000万の中には先ほど申しました、雨漏りっていうか躯体の治す工事が入ってます。加えて、トイレの改修工事も入っております。それから、特別教室のエアコンの設置の費用も入っております。あと統合にかかる外構工事ですね、その部分も含めて束ねると、この3億5000万のお金ということになります。

参加者 だから、さくら小と統合するときに使えばいいじゃないですか。さくら小と統合するときに、教育長がそういうふうにご答弁してるんですよ。3校が一緒になって校舎が決まったときに予算化をする。なぜまださくら小が決まっていないのに、先にみどり小にするんですか。

市教委 子どもたちの過ごす教育環境は、基本的にみんな平等な環境でなければならないと思います。トイレにしろエアコンにしろ、今、みどり小も現実に生活してるんです。例えばトイレ工事の率で申し上げますと、村上市全体で令和5年の当時の54%ぐらいの洋式化率だったんです。それがR5・6年の2ヵ年で、水洗化率の低い10何%のところの4校をやったところ、市全体として70何%だったんです。この現場の方としては、みどり小が28%、小川小が54%、さくらが44%の水洗化率でしかない。これまで不便をきたした。それを、今統合のタイミングでいあままで不便をかけた部分も含めて解消しましょうと。それは本来どの学校にもやらなければならないところですが、背に腹は変えられないので、限られた予算内で優先順位をつけて、私たち計画させていただいてるということです。来年度以降、さくら小も計画はあります。

参加者 そもそも何ていうかな今言ってるのと、外壁だとか雨漏りだとか、そういうのがね全然ね、もう目的とか仕様が違うと思うんですよ。フェンスだって900メートルだって言うけれど、これまだ別の話なんだけど、そういうのは統合のために必要な部分だと。それと、繰り返しになるけど外壁、屋根だとかね、ああいうの全く違うんですよ。それを1度にしてしまうっていうのはねおかしいわけ。それを全部やることによって、さくら小を吸収合併しますよと言ってるのと一緒なんですよ。

市教委 どうしても不便をかけている現状で、輪番で学校を整備していかねばならない状況で、このたびの統合のタイミングでやると、どうしてもそのときには、施設としての価値はどうしたって高まってしまうというところはあると思います。

参加者 上面で言えばそうなんですけど、ちょっとね、計画的に低いレベルで言いますと、例えば自分がね2つ家AとB持っていると。今Bに住んでますと、この先3~4年どっちを選択するか不明だと。でも、Bに今住んでるから、最低限は治しますよと。いうのはわかるんですよ。でも、そこに外壁から全部ねやってしまうと、その先Aを選択するってのはなくなるんですよ。そういう考え方になると思うんですよ。

市教委 今のおっしゃること、昨日もそれでずっとご指摘いただいてたんで。

参加者 いえ、今年は延ばせばいいんじゃないですか、さくら小が決まるまで。

市教委 まだ私の説明の続きがあります。フェンスについては、これはどちらかという小

川小学校区さんの方から、ちょっと要望が強かったなあと感じて計画しましたが、まだその必要性について、議論がまだ固まってないので、それについては、これから精査させていただきたいと思います。

参加者 それは予算通る前の話ですよ、予算が通ってるんだよ。通ってるのに何かやらないかわからないなんていう、そういう予算の計上。

市教委 ただ基本的に予算は通してもらったんで、工事はさせていただきます。ご批判あるうと。ただし今中東情勢で、非常に資材が入ってこないとか、高騰してるとかそういう状況もありますので、ここに挙げた工事が、今年度全部できるかというときっと難しいと思います。ですので区長さん言われたように、必要最低限の工事に絞りながら、実施していかなければならないと思うんです。それを推進委員会の席できっと述べることになるかと思うんですが。ただ、ただやはり子どもたちのために、まず、みどり小の校舎改修にお金をかけなければならぬっていうことをなぜ否定されるのか。

参加者 否定はしてないんですよ。程度ですよ程度。

市教委 だからそれについては、説明させてもらおう。

参加者 やるにあたって、ここだけじゃなくて、さくら小がどういう結果だったのか、まだ聞いてないんですけど、そこも含めて方向性決めてよろしいと。さくら小もみどり小じゃその全部やって、みどり小で吸収じゃないと。言い方悪いけど、みどり小の校舎使うというんだったらそれはそれで1つの方向だと思うんですよ。まだそれがみんな中途半端になって、じゃ、工事だけやらしてもらいますよと。それを基本的修繕じゃなくて、雨漏りだとかね、そういう本当に困るのは当然やって当たり前ですから、そこはやめてしまうけど、それぞれの、基本的施設だとか、フェンスで90メートルで3ヶ所入口つけるだとかそういうのは、全く、再検討要すると思うんで。そんなに6000万かけないで、もっとね良いやり方だろうと思うんですよ。例えばバスの送迎で運転手さんに校舎まで朝連れてってもらおうとかね、そういう熊出る時期になったら、例えば人材派遣に頼んで、その時間帯に見てもらおうとかね、そういう何ていうのかな、その経費のかからない効率の高いやつをね、やった方がいいと思うんですよ。フェンスで90メートルがあって、費用対効果ってのは全く見えないんですよ。この近くで熊どのくらい出たんですか。中原に何回出ました？ 黒田とこの間に何回しました？

市教委 回数までは把握しないですけども、もう時期によっては、毎日毎日、放送したと思うので。

参加者 なんでそんな90メートルも必要か。基準あるか。昔の中学校の校舎のなんていうの、グラウンドの。

市教委 すいませんが、時間もあれなので。工事は基本的にやらせてもらいますけれども、やっぱり昨日も指摘いただいたのは、やっぱり3校のみんなが納得するような、それは非常に難しいと思うんですけども。せめて仕方ないとか、円満な統合をしてくれと。そのためには、例えば3校の関わる方が一堂に会してもう1回説明してくれとか、そういう要望されました。決してだましたとか嘘ついたとか、そういう気持ちは教育委員会ございませんので。

参加者 ないとは言うけど結果はそうなるのよ。議事録にも載ってるし、いわふね新聞にも載ったし、このね、重く受けとめてもらわないというふうな記事も見てるし、これ見るとね、第三者的に考えたら全く騙しだよ。まして、予算通ってるんだよ。

市教委 昨日も、その点については話させていただきました。お金をかけられないって言ったのに、これだけ今計上されてるじゃないっていう話です。それは冒頭に教育長が申しあげましたけども、これは今、今の情勢、子どもたちが減ってるところで、学校、教室などを増設するような投資はできないと。いうことを、お伝えしてたんです。

参加者 基本的支出は先延べしてくれと。

市教委 はい。先ほども伝えさしてもらいましたが、さくら小でも同じ話でした。結果的には、この今の情勢の影響で当初と同じ見込んだ工事はもうできないでしょうと。いう情勢のお話をさしていただいて、今後できるできない、本当に見込み立ちませんので、工事が。そのお見込みをこっちでまた調査してできるものを、次また、皆様にお伝えしながら、進めていこうかなと考えているところです。

参加者 基本的支出の部分も。残存価格の上がる工事も、外壁だとか屋根だとか。

市教委 それからそれらについても部分的にはやらしてもらおう。

参加者 伸びるわけだな。

市教委 延びますね。

参加者 だからそこを、皆さんの了解をもらってやろうと、いうふうな形でまとめてくればいいんですよ。そんなね材料はいるか入らないかわからんけど。

市教委 そういうふうに今これをただやらしてくれって言っても実際、彼に皆様に OK もらったとしてもそれやれるかやれないかもわからない状況ですので、

参加者 それは切り離してください。それはあるんだけど、皆さんの予定でやってもらいたいんだけど、材料が入らないから延ばしますよ。というのと、材料入るか入らないかわからないから、延ばしますよとなったときに、皆さんと相談しますよ。全然意味が違うと思う。

市教委 内容を何度かさせてもらって進めるという話になろうかと思います。

参加者 PTAの方にもちょっと聞いていただけませんか。フェンスは要らないなんていう議事録もありました。PTAの方はこの3.6億円をどう考えているのか、ちょっと聞いてもらいたい。

市教委 時間もあれなんですけども、そうもいつてもらえないので、何か一言ずつでも、代表さんの方でも、ご意見あればどうでしょうか。

参加者 小川小なんですけれど、今ほど全然言われた通り、この話は前回ぱっと見えてきたのでびっくりしたので、ただおっしゃる通り今日のためにやらなきゃいけないってことで、一応必要最低限のところについては、自分たちが困らないところについてやってきたいと思います。

参加者 ただ、私ちょっと違和感があってちょっと気になったんですけど。去年の5月13日の第3回の合同統合検討会のところで、当初、校舎比較してる最中だったと思うんですけど、その中で、校舎の長寿命化工事について、具体的内容を知りたいと出席者の方から質疑が出て、その中で、長寿命化工事は書類にある通り、小川だと令和13年、

みどりだと令和 30 年頃にそれぞれ長寿命化をしていかなければならない計画でありますという回答があって、長寿命化の工事の中身は何だとなり、屋根や外壁を直すなどということの回答でした。そのときに令和 30 年度でいいですよといったものが、今、どこまで治すかというところ分らないですけども、30 年度までお金もかからないってイメージだったんですけど。それが今やらなきゃならなくなってるのが、なんでだろうっていう話もあるんですよ。そのね、みどり小が新しいしお金もかからないかからないでしょっていうので、選んだ方もいらっしゃると思うんですけど。そこがちょっと、何でかなっていうのはあるんです。

参加者 工事にかんしては金額が大きいですけども、これはやっぱ何だ、子どもたちのために、やっぱりやらなければならぬ工事かなと思ってます。屋根しろ外壁にしろ、早急にやった方が、この後、大々的に壊れることもないし、雨漏りしてればだんだん他のところにも雨漏りが流れれば壊れることですし。先延ばしにすれば先延ばしにするほどあちこち傷んでくるはずなんです。こうやって市教委が、今回、やろうと言って、国からの補助もある。それを元手にやるっていうのは、一番いいことかなと思って。やっぱ悪いものは早く直したほうがいい。先延ばしにすればだんだん悪くなる。それが一番だと思うんですよ。

ただねこれも最初に校舎決めたときはどっちにしようがあっても、やっぱお金のかからない方。令和 15 年、小川小学校はすれば莫大な金がかかる。おそらく変わったと思う。耐震工事の何しろ、朝日みどり小学校はそんなにかからな、ある程度新しいのでかからなかったかもしれません。ただ、今こうなって外壁にしろ、やる工事にしろ、これはこの先、先延ばしにすれば、雨漏りすれば、鉄筋コンクリートだろうとなんだろうと腐食してこれが壊れるんですよ。だから今の段階でこれはやったほうがいいと思います。1つ、フェンスに関しては、私はやらなくてもいいと思うんですけども、フェンスをやらないのであれば、周りの木をもうちょっと伐採してもらって見通し良くしていただければ、フェンスはやらなくても全然いいと思います。その方がお金もかからないし、校舎の近くまで見通しがよければ、猿とか熊とかイノシシとかは多分こないと思うんで。私はフェンスは必要ないと思ってます。

市教委 長寿命化については、確かに 30 年頃までには持つでしょうとか、健全な状態で、使えますでしょうという 1つの目安であります。今、現にみどり小は以前から体育館とか、雨漏りしてる箇所がありまして、また、箇所が増えたりもしてたりしてます。また小川小さんもそうかもしれないですけど、天井の廊下ですとか、石膏ボードにシミが入ってきたりしてます。それら、雨漏りはどっから伝ってくるかわからない。それをピンポイント最小限にやろうということでも、その業者さんに言わせると、何処から入ってくるかわからないと言います。それはあちこちあるもんですから、それを一気に直させてもらう方が一番効率的な方法ということで計画した。さっきありました、雨漏りそのままにしておくとかクラックですとかコンクリート腐敗とかありますので、それらもこのタイミングでやろうというふうな計画をさせて頂いたところです。

参加者 去年の段階から雨漏りはしてるということだったんですか。

市教委 してました。体育館だってもう大分前から床も結構色変わったりして、また新たな場所も雨漏りしてきたりするという状況。

参加者 その時に言ってもらっても良かったか。基本的にわかってることは、5月の時点で。結局その長寿命化、全体の改修工事をやってしまうわけですよ。30年でよかったっていうものを今やることになるわけです。そういったところもできれば欲しかったとか、説明も我々としてはもう何もなくていいんだねっていうようなイメージでいたと思うんですけど、それがポッと出てきて。

市教委　そうですね。雨の関係とそれからやっぱり、みどり小学校は結構外壁のクラック、外壁の膨らみとかですね、剥離などが結構面積的にも余計だったりしてるんです。それをまた、やはり統合ということで、そのままということもなかなかできませんし、また、それ表面の壁だけ塗り変えるというのも、アスファルトのオーバーレイするだけのような感じで、すぐ剥がれてくるので、それらはある程度の工事をやらなければならない考えです。

参加者　それってあれですか。さくら小と統合するときに、さくら小学校の校舎を使えば、工事がいらぬんですよ。さくら小の校舎が一番新しいですよ。

市教委　さくら小学校の方が、みどり小学校でも4年若い施設になります。現在さくら小は雨漏りの症状はないと聞いてます。玄関のところあったけど治した。

参加者　だから最低限、みどり小をやっておいて、今度さくら小と話したときに最終的にどっちの学校を選択するか、その結果によってその基本的支出すればいいのかなど。

市教委　情勢はありますけども、最低限の工事はやらせていただきたいと言うふうにお問い合わせしたいと思います。

参加者　もう1つは、せっかく順調にこのどっちの校舎使うか、これまでいろいろ話をして、推進委員会の方に推移して、順調にね、子どもたちのために、じゃあどうしようかと、ありがとうございますとかね、いろいろ話をして、順調にここまで来たわけだ。それが今回こういうね突発によって、また今みたいな形でいろいろ意見交換するのは、話もまたぶり返すようでまずいですよね。だから、市教委が知ってて我々は知らないやつはオープンにしてもらいたいと思うんですよ。今後進めるうえで、さくら小の方と意見を合わせて、どうしてもらおうのかっていうのはね、今度、一緒にやってもらいたいと思う。さくらはさくらで話して、みどりと小川はで話しすると、中身がずれるのがいっぱいあるんですよ。だから、同一、一緒なわけだから、両方合わせて。

市教委　いやおっしゃる通り、そういう機会も設けさせていただければなと考え始めたところですし、ただその集まった中で、さくら小さんだけがちょっと蚊帳の外になるような議題の内容もあるかもしれないので、必要なときには、招集し進めさせてもらいたいと思います。

参加者　そういう形でやってもらえると良いと思いますし、今の基本的支出については、本当にね、ちょっと落としどころが違うんですよ。だから、本当にやらないで伸ばすか、さくら小がこっちに来るっていうその結論出てから基本的支出してもらいたい。あとは最低限雨漏りとかそういうやつは最低限でやってもらう。当然、子どもたちのために必要だから。今、話聞いて、さくら小は新しい、さくら小は鳥獣が出てないわけだ。それも選択肢の1つだから。だから鈴木さん言われたのをわかるし、皆さんにはわかるけどそこだけ教育委員会でしっかりまとめて、皆さんの意見を調整してやってもらいたいんですよ。情報提供して。議会通ったからと言って実行しなくていいんですよ。普通の予算というのはそうなので、繰り延べとかできるんですよ。

市教委　では、工事については再度検討させていただきますし、やっぱり必要な最低限のものは、やらしていただければならないなと考えております。そのような、情報はお伝えさせていただきますと思いますの。

皆さんせっかくおられた合同検討会のメンバーさんの方で、何か特別あれば、伺いたいと思いますが如何でしょうか。

市教委　次の、あさひ小とさくら小学校との統合のスケジュールですけれども、以前、概要

版というカラー刷りのものを皆さんに配付させていただいたと思います。この一番後ろに、さくら小が11年度以降のところに統合のマークがあります。スペースも狭いんですが、これを見ると、11年なんだよと捉えてる方もいたりして、それが口伝で11年なんだよと思われるみたいなどころもありますので、11年度以降ということをお願いいたします。さくら小で3校同時のお話をさせていただいたときも、その次の統合の検討には、13年・14年頃にさくら小学校さんも複式となる予定なので、令和9とか10年とかに、検討を始めさせていかなければならないですよという、お話をさせていただいたところですよ。

13年度には確実にさくら小学校も複式学級できます。ただ、11年度からできる可能性もあります。特別支援学級に何人入るかで、そういう事情もありますので、いろいろ方策考えないといけないんですけれども、私個人としては、13年度あたりの統合が望ましいのではないかと、思っているところです。それに合わせて、新たな話し合いを、スタートさせていかねばならないかと思っております。特に新あさひ小になったとき、また統合も話し合い始めることとなりますので、本当にご難儀かけるんですが、ご理解いただきたいと思います。

では前段の説明については以上とさせていただきたいと思っております。いかがでしょうか。これで合同統合検討会のメンバーさん、退席して構いませんので、よろしくお願いたします。皆様方、今日は大変ありがとうございました。

市教委 それでは改めまして小川小学校朝日みどり小学校の統合推進委員会を再開させていただきたいと思っております。昨年度までこの会の市教委を務めさせていただいておりました学校教育課の平方でございますが、4月1日の異動によりまして山北支所地域振興課勤務となりました。つきましては、今年度の小川小学校、朝日みどり小学校の統合推進委員会の市教委を、私学校教育課、未来の学校創造室鍋倉が務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

早速ですが、次第の2番、委員長副委員長の選出に移させていただきたいと思っております。新たな年度となりまして、委員の変更がございましたので、正副委員長の選出を行いたいと思っております。

設置要綱の第1条第1項では、正副委員長は、委員のうちから互選という規定がございます。昨年度は、委員長に、朝日みどり小学校PTA会長の鈴木寿憲様、副委員長に小川小学校のPTA会長富樫正典様になっていただいておりますが、今年度につきましてもいかがいたしましょうか。特にご意見がないようであれば、委員長につきましては、引き続き役職はちょっと変更となりましたが、委員長に鈴木寿憲さん、副委員長につきましては小川小学校の大田陽祐さんをお願いしたいと思っておりますが、ご異議ございませんでしょうか。

ありがとうございます。そういたしましたら、2人に正副委員長をお願いしたいと思います。選出されたい方は、お席の移動お願いたします。

それでは次第3の挨拶を委員長よりお願いたします。

委員長 はい。皆様お疲れさまです。今ほどいろんなご質問ありがとうございました。また今年度、委員長になりました鈴木と申します。よろしくお願いたします。

それでは第5回小川小学校・朝日みどり小学校統合推進委員会を開催したいと思います。よろしくお願いたします。

市教委 はい。ありがとうございました。続きまして、4番の報告に入りたいと思っております。

以降の議題の進行につきましては、委員会設置要綱第6条により、委員長が議長となり、進めていただきますのでよろしくお願いたします。

委員長 それでは、報告(1)部会からの報告について、初めに、教育課程部会より担当の方、よろしくお願いたします。

委員 はい。今年度 4 月に、朝日みどり小学校に参りました。校長児玉康弘と申します。先日、小川小学校の校長先生、それから中山教頭先生、それから教務主任の先生と集まりまして、来年度の令和 9 年度、朝日小学校の教育目標、それから重点目標が、たたき台として決まりました。

まず、これからの人づくりということで、これからの社会は、より一層グローバル化が進み、諸外国の方々と一緒に生活したり、一緒に働いたりする時代がやって参ります。その際、自分の自分と違う価値観の人たちを理解し、自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したい、したりしながら、よりも、よりよいものを作り上げ、行こうとする力が必要となります。つまり、広い視野に立ったときに、何々小学校の人たちの考えが合わないから遊ばないとか、友達になれないなどと言っている時代ではないです。これからの社会は、他地域、他県、そして世界等、広い視野に立って渡り合える人づくりが求められます。それを踏まえて、新しい学校の目標を設定していく必要があると考えました。

まず、教育目標につきましては、『しなやかに・温かく・たくましく』という文言です。しなやかさというのは、知、それから温かさというのは、徳、たくましくは、体、です。目指す学校の姿として、みんなの笑顔が輝く一人ひとりが主人公の学校ということで、今ところ考えています。しなやかに温かくたくましくの、しなやかというのは、学び合い、考えを深める子。それから温かくというのは、自他のよさがわかり、認め合う子。それからたくましくというのは、心身ともに健康でたくましい子というこの 3 本立てになります。で、みんなの笑顔が輝く一人ひとりが主人公の学校というのは、子どもたち一人ひとりが学校生活に充実、充実感を持ち、生き生きと生活していける、そういう人づくりが、この朝日小学校では必要だと考え、このような目標を立てさせていただきました。以上でよろしいでしょうか。

委員長 はい。ありがとうございました。
ただいまの学校の教育目標について報告について、ご質問等あれば。
ではないようなので、次にいきたいと思います。
それでは続きまして、庶務部会からの報告について、よろしく願いいたします。

委員 それでは、今月引き続き今年度も朝日みどり小学校教頭させていただいております。朝日みどり小学校 4 年目となりました。よろしく願いいたします。

庶務部からの報告です。まず、PTA の方です。規約等に関しては、昨年度、そちらにいらっしゃる大田さんなどと、来年度役員候補の方々と進めて参りました。年度が変わりましたので、また集まる日を決めて、細かいところを決める。そして、夏ごろには来年度の新役員 3 役をまず選出する方向で進んでおります。次回、また新しい報告ができると思います。よろしく願いいたします。

次に、体操着名札部会です。前回、2 つの案が出てるといって報告をさせていただきました。A 案は既存の体操着をそのまま使い続ける、ただし、新規作成に関しては、現小川小学校、朝日みどり小学校、どちらかにしないと、メーカーの方が、制作が厳しいということでしたので、どちらかに決める。

B 案としては、中学校のデザインを採用してみるという案でございます。

それぞれメリット、デメリットがあります。

PTA 総会の際に、実際、実物を見ていただきまして、その後、保護者の皆様から家庭数による投票をしていただくという形で進んでおります。明日、朝日みどり小学校 PTA 総会ありますので、そちらで現物を見て、諸総の中で、学校の方からご説明させていただき、投票していただきます。29 日が小川小学校さんですので、サンプルの方をお届けいたしますので、そちらで現物をよく見ていただきまして、また投票していただきます。

その後、保育園さんの方とまた調節いたしまして、年少から年中さんにかけて、

これから進学して参りますので、そちらの方にも実物を見ていただいて、より子どもたちに良いと思うものを選んでいただくということになります。そこまで今進んでおります。

名札に関しては、1年間程度をめどに、ケースに印刷したものを入れて、こういったものは新しく作るわけじゃなく、漢字とそこに読みも増えて、1年生から6年生までが、すぐに名前と言い合える環境を整えて、1年もずっと子どもはきっと顔と名前を一致して、呼び合えるだろうというところで計画しております。名札に関しては以上です。何か質問等ありましたら、どうぞお願い致します。

委員長 はい。ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問等あれば、それではないようなので、次の議題に行きたいと思えます。

(1)、校章デザインの選考について市教委よりお願いいたします。

市教委 はい。それでは校章についてご説明させていただきます。

前はカラーのデザインを委員会の方で出ささせていただきました。今回につきましては、ステージ幕や校旗などの実際に使用される際の単色白黒ですね、の感じがわかるように、白黒で資料をお送りさせていただきました。前回の委員会の中で、専門的な方に見ていただくことはできないのかというお話をいただいております。なかなかですね。ご対応いただける方が見つからなかったんですけども、村上東中学校の美術の先生に、見ていただくことができ、そのコメントを皆さんに配布した資料に記載させていただいております。

2番につきましては、シンプルで色がついてる部分とついてない部分のバランスがいい、朝日のイメージが弱い、既視感があるというコメントをいただいております。4番につきましては、シンプルで、マークとして使いやすい、色が現代的、これカラーでも先生の方に送っておりますので、一応カラーも、その分も含めてコメントいただいております。英語のロゴも、新しい学校のイメージとして良い、ハマナスが桜に見える、朝日が強調されているということになります。こちらのロゴのプライマリースクールが、前回ちょっとふさわしくないんじゃないかというお話もいただいてたということなんですけれども、英語の教科書、小学校の英語の教科書も、エレメンタリーイングリッシュコースとかですね。あと、国土交通省とか国で使ってる道路標識のところにもやっぱりエレメンタリースクールとかっていう表記になっているようですので、ここについては、もし、この図案が選ばれるということであれば、ロゴの方は修正いただく必要があるかなというふうに考えております。

67番につきましては、線が多くごちゃごちゃしている。これ多分、葉っぱの部分曲線だと思うんですけども、そのあたりがちょっと細かい絵になっているところと、ブナに目をつけたところは面白いが、伝わりにくいというコメントとなっております。

71番は、エンブレムのように、落ち着いた色合いである。ただ校章という感じがしない。それが狙いであればそれでいいんですけども、校章という感じがしない。シンボルマークとしては情報が整理されていない。かわいらしくて親しみがある。シンボルマークというよりは、絵に見える。こちら情報も情報が整理されていないのかというコメントをいただいております。

先生からのコメントをいただいておりますけれども、これで判断ができるかなってちょっと難しいんじゃないかなというふうに私、思っております。

委員として変わられた方もいらっしゃるんですけども、1度すべての作品をご覧いただいて、事前審査で、いいと言われてたもの上位5点を、今回選ばせていただいて、前回から協議いただいているということになるんですけども。この中から、新しい、新しい朝日小学校の学校にふさわしい交渉が選べそうでしょうか。こんなから選べそうだなって思う方っていらっしゃるでしょうか。ちょっと難しいんじゃないかなと思う方の方が多いですかね。はい。そうなった時に、一応ですね、私どもの

方としては以前の経緯もありまして、公募から選んで、校章にするという形を取らせていただきました。前回多分、さくら小とかは、それが、うまくいって、さくらのマークと周りのマークですね、つけて校章ができてるといふ形なんですけども、今回につきましては皆さんがなかなか納得いただけるものがちょっと見当たらない。というところと、あと、子どもたちがこの先使っていく校章を、この中からどうしても選ばなくちゃいけないのかっていうところは、多少やっぱ皆さんにも疑問が残るところかなというふうに思っております。私ども市教委としてこの校章について今できそうなことと言えば、実はこの皆さんから選んでいただいたこの5点の中から選ぶとして、例えば1つ選んでいただければ、多分、1、2番と4番あたりとかは、皆さんの中で、ハマナスっていうのはちょっとじっくりこないっていうところがあると思うんです。市の花ではあるけども、朝日地域のイメージとはちょっと違うんじゃないかっていうご意見もいただいたと思います。この辺りを選んでいただくのであれば、これを例えば、ひまわり変えてもらえませんかとか、こういうモチーフにしていただけませんかという修正をお願いすることは可能かと思っております。受けていただけるかどうか、ちょっとわからないですけども。それを皆さんに見せ、例えばひまわりにしたときにこういうふうになりますけどどうしますかっていう話にさせていただくことは可能かなと思っております。

もう1つは、たいぶ前の話の中で出てきたというふう聞いてるんですけども、朝日中学校の校章を、中学校との地域の一体感を出すために、朝日中学校の校章を使用して、中の文字を小に変更して校章として使えないかという話も出てきたというふう聞いてます。

市教委

こちらの朝日中学校、平成2年とか3年ぐらいに作ったときに、当時の高南中学校の校長先生が、出していただいた図案だということで、意味についてはここに書いてある通りということになります。この中学校の校章について、ちょっとあの、この、作られた方がちょっとお亡くなりになってるということで、その先についてちょっと、中山の方から説明させていただきます。

この校章については前回から皆様に、お悩みいただいていたところで、市教委どうしましょうかということで、ちょっと考えさせていただいたところです。皆様、あんまりじっくりこないのに、この5点の中から選ばなきゃならないの、それをずっと使っていくのっていうのは、そこがすごく引っかかってたところで、いただいた朝日中学校の方がその当時の、志田校長先生という方で、出身が鶉渡路だそうです。その方のご出身を調べさせていただくと、そのご家族の方がまだ家も健在でありました。市教委で、親戚の方に、もしこういう話があれば、相談さしていいかということであれば、相談は可能ですというお話をいただきました。直接、ご家族に聞いたわけではないですけども、相談してみるよと、いうお話をいただきましたので、またその辺も含めて、また皆さんでご協議お願いしたいなと思っております。

参加者

もしあれですか、公募して沢山来たわけですけど、もしここで採用されなければ、それはそれで良いということですかね。

市教委

それもちょっと気になって見てみたんですけども、一応ですね、公募していただいた中から候補の作品を一点選びますということは記載してあるんですが、必ず、申し込みいただいたところから選定しますという記載はされてないので、そこについては最終的に選ばれなかったのであれば、今回申し込みいただいた中からは、選定されませんでしたというのは出さなくちゃいけないとは思いますが、

まず言い方はちょっといろいろあると思うんですけど、候補になる作品は残念ながらございませんでした、みたいな書き方はさせていただく必要があるかなという形で、最終的に公表はするとしても、ここから必ず選びますという形には、

一応してなかったなので、その辺は何とかクリアするかなというふうに思っております。

応募された方にはちょっと申しわけないところあるんですけども、ただ、そうになると最初に言った、この中から、子どもたちがずっと使っていくやつを選んでいかなくちゃいけないとなると、委員の皆様が、んって思ってるものを地域の方に出したときに、何でこれを、みたいな話になっていくことも考えられますので、より良いものを選べればなあというふうに思っております。

まず2点目は、既存の中学校のものを、小学校用に変えて使用するという事になります。

ちょっと見てみたんですけど、他の市町村でも、多くやってるわけじゃないと思うんですけども、小中一体感を創出するために、そういう校章作りましたという市町村も見受けられたので、ない話ではないのかなというふうに思っております。

それ以外につきましては、ここから、さっきのお話は、もうプロにお願いする話になってくるんですけども、例えば、統合する学校の校章、小川小学校とみどり小学校、そこにさくら小学校入れるかどうかというところあるんですけど、それを融合させて、作っていただくという形が1つ。

ただそこは、気に入ったものができるかはちょっとわからないというですね、どういうデザインができるかわからない上で、投票していただいてこれはなかったことになると、選択肢がかなり狭まってしまうというのがありますが、慣れ親しんだところの校章をちょっと使いながら、校章を作ることができるというのが、3点目。もう1つは、もう全くなかったこととして1から作成するという話になります。

こちらにつきましては、時間がかかるということと、先ほどと同じく気に入ったものができるかわからないけれども、時間的な制約で、その中から選ばざるをえないような形になってくるというところになります。

この3番と4番につきましては、前段の話から、そんな話ばかりして申し訳ないけど、やっぱりお金かかってくる話なので、今日明日という話にはいかないところなので、しばらくお時間いただくんですけども、例えばステージ幕だったり、校旗などに使うとなると、8月頃には発注をしないと、かなりタイトな中で、これ、決めなくちゃいけないというところが、正直、できるかなと思っております。

一応ですね。できれば、朝日地域の方に、朝日にゆかりのある方にちょっとお願いしたい、できればなっているのは正直ありまして、美術、絵を書いてらっしゃる方とかをちょっと紹介してもらったりして、その方に聞いてみたりもしたんですけども、やっぱりデザインとはちょっと違うんで、なかなか簡単に作ることは難しいって話だったので、この辺はすぐにはお願いすることはちょっと難しいけれども、この候補と中学校の校章を使う以外のことであれば、そういった手段も考えなくちゃいけないという形になりますので、今現時点で市教委としてできそうなのはその4点ぐらいということになります。

今後ちょっとどういった進め方をするかを、ご検討いただければと思ひまして出させていただきますのでよろしく申し上げます。

委員長

はい。ありがとうございます。

それでは、デザイン採用の設定をどのようにしたらよいでしょうか。

参加者

確認なんですけども、この朝日中学校のやつ非常にいいなと思っておりますけども、この著作権はどうなってるんですか。この朝日村には著作権はなかったんですか。朝日村になるよとかそういうのがあれば別に、問題なければ良いのですが。著作権がこの志田先生とかあるのであれば、その人の許可をもらって変えるって

ということとして。これを使うのであれば、その方が非常に私はこの絵っていうか、校章非常にいいんで、その辺で小に変えてっていう形でも著作権のところはクリアできれば、いいかなと思うんですけど。

市教委 最近だと、その作ったものの権利は出してもらって、教育、学校とかこっちに帰属しますっていう言い方をしてるんですけど、当時そこまではっきり記載されたかどうかっていうのはちょっと資料も、多分朝日村の時代のものになって今からもう30数年前の話になるので、はっきりしないかなというところがあります。なので、その作った方、万が一の事も考えて作った方の子孫っていうか、息子さん、お孫さんなのか、あの辺りに確認した上で使わせてもらっていいかという話を、今させていただいているという状況になります。

本当はもしかすると、わかる方が見れば、これもう村に当時の村に帰属されてるから別にいいんだよってなるのかもしれないんですけど、ちょっとそこははっきりしない。

参加者 当時の職員がわかってるかもしれないが。

市教委 間違いない方法として、持ち物と思われるそのお宅の方に許可いうものは、絶対条件だと思いますし、あと、可能性あるというのは学校に帰属しますっていうのを、教育委員会も含めてのとなので、2点押さえれば、問題はないのではないかなと考えてます。

参加者 最近著作権が非常に難しいからそうですね、やっぱり気を付けないと。

委員長 はい。ありがとうございます。
他に採用の決め方、ある方いらっしゃいますでしょうか。

参加者 私も個人的には中学校の時、一応、小に変えた方がいいのかなっていうのは、朝日3校一緒になっても、あさひ小学校の校名は多分変えられないと思うし、校歌も、この地域だけなので、猿沢と塩野町の地名とかそういうやつも入れてくれと、いうふうに確か要望したはずですので、であれば、校名も変わらないし、校歌も変わらないし、校章も変わらないというのがあればスムーズにいくのかなと思いますし、さっき言ったように、中学校との一体感ができて非常にいいと思います。

委員長 はい、ありがとうございます。それでは、今ここに出された5点と、朝日中学校の校章が出ましたので、最後、3番目と4番目は、ちょっと大変だということなので、皆様がよければ、この中から選ぶか、今、出た通り、中学校の校章を小に変えて使うという案がありますので、それでもしも著作権とかそういうのがよければ、その案が2つありますのでちょっと皆様に多数決をとりたいんですけども。

参加者 よろしいでしょうか。先ほどの予算の件でいろいろお話ありましたけど、その時にさくら小学校の皆さんは、当然、統合も自分たちもするんだろうなという考え方でいるのに、予算を見ると、自分たちが置き去りにされてるんじゃないかというような印象を与えてるんじゃないかというふうに感じてるんですよ。それで、今回、あさひ小学校というものが私たち挙げて決めたんですよ。さくら小学校皆さんなんか何の意見も聞いてくれない、一緒に話し合いをしていない。それなの

に、多分、私は後で統合にあったときに、さくら小学校の皆さん口出しできないんじゃないかという印象を持ったんですよ。あさひ小学校でつけてしまうと。そしてその時に、この校章も朝日中学校のデザインを使って、あさひ小学校の校章を小をつけてやりましょうって、それもまた、さくら小学校の皆さんの意見なんて何も聞いてないわけですよ。なのに、当然そんなことは変えられないだろうというような考え方で進められると、また向こうの皆さん置き去りにされるという思いを持たれるんじゃないでしょうかね。教育委員会の皆さん、そういう話し合い、昨日さくら小で説明会をやったとおっしゃってましたけど、向こうの皆さん、朝日さくら小学校の皆さんはどういう印象をされてるんでしょうね。この、今まで進めてきたこの話し合いに対して、私たちは関係なしに進められてるんじゃないかという印象を持ってないんですかね。私はあさひ小学校に決めるとき言ったんですよ。これを決めてしまうと、あさひ小学校です。その先はないですよ。だから、必ずしも新しい学校にしなくてもよかったのにと、今でも思ってるんですけど、それだったらやっぱり向こうの意見を統合するという、もう前提に立ってるのであれば、やっぱり話の当事者の予算だけじゃなくて。予算は駄目だっというぐらいだから、やっぱり置き去りにされてるという印象を持たれてるんじゃないんですかね。私、このあさひ小学校に朝日中学校の校章を使ってしまうと、向こうの人たちは何も口出しできないと思いますよ。やっぱりそういうのでいいのかなっていう気持ちはあります。

参加者　　これ決めたときに、やっぱり1つそういう考え方とか言われたんですけども、もう1つは、生徒のことを考えて、例えば今、今年入学する子どもたちは、例えばオーバーだったら、小川小学校が次、統合するとあさひ小学校になるわけですよ。それで、何年か経って、もう1回統合で3校が一緒になるわけだ。そうすると、また校舎や校名が変わるとなると、再度変わるわけだ。それを考えて、せいぜい2回、3回は変えない方がいいんじゃないかという考え方で、最終的にそういう考えで、決めている考えもあるんですけど。今言うのも確かそうなんです。こっちは2校だけで決めて、どうですかっていうね。

参加者　　そういう考え方もあって、決めた経緯になってるから、何とも言えないんですけどね。

参加者　　その辺、難しいとは思いますが、向こうの方々がどういう印象を持たれてるのか、こっちだけでこんなふうに決めていいのか、その辺りの気持ちですよ。

参加者　　いやあの、ちょっと聞いた話しですけど、校名があさひ小学校になれば、変えられないだろうなあとなくなっちゃいました。変えられないと。

参加者　　そうですね。うん。もう皆さん戻れないでしょうけど、ちょっと困ったなあという印象はあるんですよ。

市教委　　これに関しましては、さくら小の方で昨日あって、保護者で14人、地域の方、区長様が6人の学運協4人という形で、少なかったんですけども、保護者さんからとか地域の方からは、特に置き去りにされてるとか言う、具体的な話はなかったですが、やっぱり3校で話し合えるような状況の会があればいいのになというの、ご指摘いただいたところでした。

私、確かに、この2校で進めるについても、体操着などは3校で決めた方がいいんじゃないっていう、あの、この前段の合同検討会の際の、構成員の方からお話があったと思うので、その辺は非常に、今、専門部会の方のその意思を引き

継いでやられていただいているんだなっていうふうなことで思っていましたし、また今あの教頭先生、さつきみどり小の先生おっしゃっていただいた、24日と29日とそれぞれ投票するんですよというところで、ちょっと私、その時質問、うん、しそびれたというか、それって、向こうさくら小さんに対して勧誘する部分って、可能かどうかちょっと伺いたかったところでした。ですので、それも含めてですし、あとこの校章についても、やはりそういうお気持ちいただいておりますので、ぜひさくら小さんの方にお声掛けさしていただいて、ちょっと集まり方はどうするか、また検討ですけども、ちょっとそういうふうなスキームを踏ましていただければ、市教委としても大変ありがたいかなと考えてます。

参加者 体操着の部会は、そもそも統合するだろうというありきで考えました。ですので、1つ目のA案は、そもそもの、自分たちの学校のものを置き続ける。2つ目のB案は、中学校のデザインなので、新しいものを作るわけじゃないので、統合のときに、新しい朝日みどり小学校、あさひ小学校の体操着を作るってなれば、既存のものを使ってるわけじゃないので、やめて、新しいものを作るということなので、私たちの部会、庶務部会の体操部会は、統合のときに変わるだろうという前提で進んでおりました。

もし機会があれば、どこかでお伝えしていただければありがたいですし、呼ばれれば、誰かが代表でお伝えすることも可能だと思っております。以上です。

市教委 すいません、もう1つ、それに加えて、あのですが。例えば、B案の朝中のデザインのものをするんだという話になったときに、それでやっぱあの、同じ今のあさひ小学校にしたという名前のですとか、またこの校章の件も同じような目線にやっぱりなってしまうのかな、と思ひまして、その時には、A案のように、どちらかの学校の体操着を着続けますよという、何、落ちて落ちれば、それはいいと思うんですけど、B案の、その朝日中学校のデザインを採用するっていうんになったときに、ちょっとさくらさんに、相談させていただいた方がいいのかなというふうな感じ受けたもので、その辺ちょっとさくら小が関与できるような部分があれば、そこでさくら小さんに話が行ったときに、さくらさんが反対されてもちょっと困るっていうのは、ことにはなるんですけども。ちょっと皆様からご意見あれば伺いたい。

委員長 さくら小学校さんは一応こっちから、あの、一緒に統合しませんかと投げかけて、相手が乗らなかったもんですから、反対されて2校で決めたものを却下することはありえないと思いますけども、一応お話を聞くことは大事だと思います。こっちからね、小川小学校さん・朝日みどり小学校さんは、さくら小学校さんにどうですかって投げかけたんです。一応、さくら小の方は、私たちの意見を蹴ったもんですから、一応、なぜ蹴ったかっていうのはうちらは複式ではないと、今の段階では複式ではないかな、今まではもう全然関係ないからいいですっていうことで断ったそうで、結果こうなったそうです。なので、一応ね、今更こうなってきましたけども、一応お話しすることは大事だと思いますし、もしも却下されてもあっちが蹴ったもんですから、こっちはこっちでこれで決めてしまってもいいんじゃないかとは思いますが。

参加者 私は今の意見に賛成です。一番最初の会議のときにせめてその、ここの会議だけでも、さくら小さんを誘えばと統合は2つだけでも、会議だけにはさくらさんも誘えばと私提案したんですけども、それで今委員長がおっしゃったように統合に向けてっていう話になってもう結局まず、私たちはしませんってなったんだから、そんなにそんなに深く。また、教育長さんは、新たに考え1からやり直すんだとお

っしゃってるから、その段階の話のときに、これ2校でやりましょうという話に、なったんで、確かに考えることも大切だと思うけども、また逆戻りしてしまって、時間ばかりかかるっていうこともあるかと思うんで、私は今の委員長さんの意見に大賛成です。

参加者　　そうですね。私たちは、小川小学校・朝日みどり小学校統合推進委員になってるわけですから、私たちだけのものとして決めてもいいと思うんですけど、その時には、向こうで今度統合するときまた新たに相談してくれれば、それでいいのかなとは思いますがね。名前がまた変わろうと何しよう。次回も話し合いだけはきちっとしてもらってということにして、私たちはここのを任されてるのですから、ここの決めましたっていうふうにさせていただいていいかなと。

委員長　　いや、多分皆様、その意見だと思うんですけども、いいですか。

参加者　　了承。

委員長　　ではデザイン選定に戻り、この中からデザインを選びたいと思いますけれども、1号案はこの5つから選ぶ。2号案はこの朝日中学校の校章を選ぶ。3号、4号議案に関してはちょっとお金が出されるということで難しいということで、それはちょっと置いておいて、この1号議案と2号議案で選定したいと思いますけれども、皆様よろしいでしょうか。それでは、挙手をお願いしたいと思います。委任は受けますか。

市教委　　受けてます。本日欠席4名ですかね、全員委任状をいただいております。

委員長　　皆さんお決まりでしょうか。よろしいですか。

参加者　　いいですか。すいません。来年度のあさひ小学校のグランドデザインを今ちょっとたたき台で作ってるんですけども、自分のイメージとしては、やっぱりひまわりなんです。この受け付けNo.2の、ここをちょっとひまわりにしたらどんなふうになるのかなっていうのをちょっと見てみたいかなっていう思いもあります。この中学校もいいんですけど。

委員長　　ありがとうございます。これ、ちょっと直すのって、この描いたデザインの方に修正をお願いすることは可能かどうか。ちょっとそこが難しいところなんです。ご意見ありがとうございます。

市教委　　ちょっとそこについて確認させていただいて。今は無償でこれやっていただいて、見直しまでは多分、そこまで大きく直しっていうのは、ちょっと対応してただけかどうかも含めて確認してみないといけないところになります。直すのであれば、ほぼこの図案で決まって、モチーフだけ直していただけますかみたいな形の頼みかたじゃないとちょっと難しいかなという正直あるんですね。ここはどういう方かわからないので、お話ししてみることは可能なんですけども、そうなる、そこまでやって、やっぱちょっとっていう話もちょっと難しいところも正直あるというところで、いくつかパターン出したっていう気持ちもあるんです。ちょっと聞いてみます。できるって言うってくれるか、駄目と言われるか聞いてみるとわかんないので、連絡取ってみます。

委員長　　はい。ありがとうございます。ですけど、これが決まったときですよ。これが

決まってしまったときに直るか直らないかですね。

市教委　　そうですね。あとは、1、2の数が近いようなところで、やっぱこっちのひまわりのパターンも見てみたいというご意見があった場合は、確認したいと思います。

委員長　　ありがとうございます。それでは、採決を取りたいと思います。
まず第1案、選ぶという方、手を挙げていただけますでしょうか。

参加者　　ひまわりも入るってことですか。

市教委　　そうですね。まず、この公募の中から選ぶのと、朝日中学校の校章を使うのかを、ちょっと1回、ちょっと選んでいただいていいですか。もう1回お願いします。

委員長　　じゃあ、第1案、公募の中から選ぶ。良い方。手を挙げていただいていいですか。

参加者　　ちょっと迷いますね。

市教委　　ちょっと待ってくださいね。1、2、3…、太田さんは、今挙げました。はい。じゃあ、あと4枚、みんな委任に該当します。

委員長　　これをひまわりに変えてっていう案ですけども、であればこの第4案、もしもあれば第4案もちょっとこう書いてもらうっていうあれば、この中からちょっとあれですけども。なかなか。

市教委　　そうですね。ある程度、絞った中でお願いしないと。全員に、このマークひまわりにしたらどうなるかっていうのを全員にお願いするにはちょっと難しいと思うので、ある程度、1つなり2つなり、絞って頂いて、これをこういうふうにはできませんかというお願いをさせていただく。

委員長　　これ、ちょっといいですか。このワッペンって、取り外しできるようなワッペンにするつもりなんでしたよね。

参加者　　朝日中学校の体操着を利用した場合は、小学校時代は貼り付けで、もしかすると、校章なしの体操着になるかもしれません。メーカーの方で、中学校に上がるときに中学校のものを貼り付けるという形かもしれません。

委員長　　それでは第2案、朝日中学校の校章を小学校に直すという案の方。

委員長　　これで何対何ですか。12対5です。

市教委　　次に、第1案の中で、どれがいいか挙手していただいてよろしいですか。

委員長　　ですけども、これ選びましたけど、これをひまわりに直してからじゃないとできないんですけども、これはどうなるんですか。

市教委　　あれですかね。とりあえず、ちょっとその、さっきそこで、さっきの先生のコメントとかも出てくると思うんですけど、この、例えば67、71あたりを推したい方っていらっしゃるいませんか。ないですかね。6番を推したい方っていらっしゃるいませんか。いらっしゃるんですかね。はい。そうすると、2と4になりますかね。ここにさっきの5名を足すと、3からちょっとあれですかね。

- 委員長 けども、もしも、この2番を選んでひまわりになった場合、デザインを見て、これは駄目だなと言った場合、これどうなるんですか。まず、これはちょっと、これが変わってしまって、これ、これをひまわりのイメージをわかせるのは、ちょっと難しいことでもあって、もうこれも現物を変えてこうですよ。載せてしまってから選ぶのであればいいんですけども。
- 市教委 まず、今、依頼をかけるのに、例えば、向こうも闇雲に直してくれって言われても困ると思うので。今じゃ、2と4あたりなのかなという感じで、今、最終候補に挙がっているので、ただ、村上市のイメージで、ハマナスを書いてきていただいていると思うんですが、この学校がある地区は実はハマナスではなく、明日、ひまわりの花が、昔の旧市町村のときの花であって、できればそちらをモチーフに校章をつくれなにかという話があります。そちらを、この今ハマナスで作っていただいているところを、「ひまわりに変更していただくことは可能ですか？」という聞き方をさせていただきます。できないと言われたら、もうそれは、このまんま。もう一度諮らせていただく形になりますし、できると言われたら、ちょっと他、期間があれなんですけど、なるべく早めをお願いして、この2案できた段階で、皆様方に集まっていたかどうか、文書でご連絡していただくか、その辺は考えさせていただきたいと思うんですけども、この2案で最終決戦みたいな形を、取れるんじゃないかなと考えてます。
- 参加者 それはそれで、考えとしてはいいんですけども。そんなんだったら他の人も、私もひまわりで言ってくればなんぼでも直すという可能性が。補正の仕方がどういふふうな依頼できるのが。1人、2人にだけでは。いや私なぜ言わないのみたいな形で。
- 市教委 それは、この委員で多数決をとって最終の候補に選びましたよっていう前提になります。
- 参加者 募集は大丈夫なんですかそれで。他から、何で依頼が来ないんだと、そう言われるのであれば。
- 市教委 それをするのであれば、もう1回全部取り直しですね、ひまわりで取直し。
- 参加者 そうしないと、周りから文句が出たときに、どうなのかなと思って。そういう書き方になっていけば別に問題無ければよいのですが。
- 市教委 すいません。募集の際の要綱では、イメージの崩れない限りにという前置きはありますけども、ちょっと補作、直させていただくこともあるかもしれませんということも含めて、帰属していただきますっていうことにさせてもらってますので問題ないかと考えてます。
 採用作品は補作の上、使用する場合がありますという記載が一応あります。
- 市教委 一応、そこをちょっと拡大解釈して、今、皆さんなかなかスパッと決められないもんですから、ご同意いただくためにはそこちょっとこう、いじらしてしていただくかなあという方向に今なっていると。
- 市教委 ルールもとても大事なんですけど、この先、子どもたちが使っていくものを、やっぱある程度納得していただいたものを、もうすでに募集かけてるから。
- 参加者 それはそうなんですけども、もうすぐ募集かけてるんだから。今、訴訟社会だから、あとあと、何でそうなのって言われないようにしないといけないと思いました。

- 参加者 すいません。そうなった時に、この朝日中学校の校章も、やっぱ朝日のカタカナの案を図案化したもので、非常に意味があるかなと思ってるので、ぜひこれも候補として残してもらっても。最終投票の候補としてお願いしたい。
- 市教委 可能であればまあ、3つで最終をとれるといいというような形になりますでしょうか。
- 委員長 はい。それでは1号議案に決まりましたので、とりあえずこちらの67、71は無しとして、この2・4・6の案で、多数決を取りたいと思います。まず2つ、この中から2つ選んで、ちょっと直してもらって、その中のまた3点で選ぶということで。
- 市教委 一応、今どれだけその2と4の割合があるか分からないので、今とそ話してるんですけど、どっちかが圧倒的に多ければ、そちらだけになりますし。はい。ちょっとどっちがいいかを多数決をお願いしたい。
- 委員長 はい。皆様、ちょっとまた手を挙げていただきたいと思います。では、この最初の1のナンバー2の作品がいいっていう方。手を挙げてもらえますか。
- 市教委 7プラス4の11。
- 委員長 4番がいいという方、6。
これでもう決まりましたんで、2と4を、まず一応、2の方が多いんですけども、これ4もちょっと書いていただくことは可能ですか。
- 市教委 打診することは可能です。対応していただけるかどうかはその方の対応によりませんが。
- 委員長 そしたら圧倒的に投票では、2の方が多いので、2の案をひまわりのイメージに、変えてもらうっていうことで。この4番も英語の部分ですか。ここを直すか取るか。ハマナスのイメージなので、ちょっとこう、向きを変えてもらって桜のイメージにするとか、ちょっと動きだけちょっとだけ変えてもらえれば、ハマナスじゃなくて桜のイメージになるのかなと思いますので、ちょっとだけ向きでも変えていただければいいのかなと思うんですけども。
4はひまわりにはちょっとならないんじゃないですかね。これだから。あまり細かすぎても、葉っぱとか花びらの部分が細かすぎても、結局あの普段使うイメージになるのでやっぱし、シンプルなのがいいかな。多少こう変えてもらうとか。
- 参加者 決まりですね、校長先生がお話になった教育目標のイメージからいけば、朝日エレメンタリースクールってのは、こうぐるっと入っているような形態の方がいいですよ。どっちかと言えば、国際的な子どもたちを育成したいというようなイメージが。学校を目指すのあれば、そうなるでしょうし。この朝日、お日様出てこなくても。
- 委員長 こだわらなくてもいいと思う。
- 参加者 廻りの取り囲むのは入った方が、ぐるっと入った方がいい。その中に花巻くような気がするんですけど、それはデザイナーの考え方がありますので。
- 市教委 それをひまわりじゃなくてもよろしいですか、校長先生。
- 参加者 いや、だけどこの朝日、この朝日のイメージからすると、ここにはちょっとひ

まわりっていうのはいまいちなんかこう、うまく当てはまらないかなって気はするんです。ただ、受け付け番号2については、ここはやっぱりひまわりの花が見たいっていう、思いがあります。

委員長 でき上がったときに、物を見ていただいて、もう一度、多数決を取ることは可能ですか。

市教委 可能です。

委員長 はい。では出来上がったときに、もう一度皆様に見ていただいて、今の中学校の校章も含めて、選んでもらいたいと思いますので、一応お話をして、でき上がったら皆様に事前に見てもらってから、多数決で決めたいと思います。

参加者 それで、ナンバー4はどうなるんですか。

委員長 ナンバー4はちょっと、この英語の部分エレメンタリーに変え、この中身は変わらない。

市教委 中身はもう少し桜のような形に。

委員長 桜のような形にちょっと直していただければ、朝日も桜がいっぱいあるじゃないですか。

市教委 はい。

委員長 みどり小学校も小川小学校も、小川小学校は特に桜が満開ですね。なので、もう1つ、さくら小学校。そこも兼ねて、桜にちょっと直していただければ、ちょっと気を遣っていいのかなと思いますので、ちょっとそこら辺を直していただければと思います。

市教委 デザインされた方に連絡して、でき次第、また皆様方に。お示しできればと思いますので、はい。

委員長 はい、ではよろしく願いいたします。ありがとうございます。

参加者 教育環境なり、教育目標なり、学校のイメージでも添えていいんじゃないですか。こういう学校の目指す方向ですみたいなのを添えて。お願いすれば、またちょっとデザイン変えてくれるかもしれないね。

市教委 はい。わかりました。

委員長 ありがとうございます。それでは最後に、その他について市教委からよろしく願いいたします。

市教委 今回の会議日程についてご説明させていただきたいと思います。今ほどデザインの話がありましたので、こちらの方は依頼かけてでき次第という形になりますので、次回間に合うかどうかという所はあるんですけども、校歌の話ですね、大滝先生にお願いしてたものが、ちょっと少しでき上がっているということでご連絡いただいておりますので、次回の会議に多少なりともお話できるかなというところになっております。

なので、毎月、1ヶ月ぐらいの感覚でお願いしたりしてたかと思うんですけれ

ども、次回も一応5月末から6月の初旬ぐらいをめどに開催したいと思っておりますけれども、その内容によりまして多少ずれることがあるかもしれませんので、また近くなりましたらご連絡させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長

はい。ありがとうございました。以上で本日の議事は以上となります。大変皆様ありがとうございました。

市教委

委員長、議事進行大変ありがとうございました。
6. 閉会の挨拶を大田副委員長の方、お願いいたします。

参加者

皆さん、今日も長時間にわたりまして、いろいろとご審議いただきましてありがとうございました。我々委員としてもやっぱり見えない部分ってのもありますので、市教委の方が大変なこともあると思いますけれども、大事なところだけは、情報をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それと報告いただきました、教育課程部会さんの方からの教育目標と重点目標にですね、大変素晴らしい目標を定めていただいたと思っております。子どもたちに早く見せるところなんですけども、統合校の子どもたちが、まさにそのようになるように、祈っておりますので、楽しみにしております。あと校章デザインも、また色々とお手数おかけしますが、事務局の方におかれましては、お願いしたいと思います。あと統合まで1年切っておりますので、急ぐところもあるかと思っておりますけれども、また引き続き皆さん仲良くみんなで行っていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。